

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3108317号
(U3108317)

(45) 発行日 平成17年4月14日(2005. 4. 14)

(24) 登録日 平成17年2月2日(2005. 2. 2)

(51) Int.Cl.⁷

A47G 29/10

F I

A47G 29/10

A

評価書の請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 実願2004-6165 (U2004-6165)
(22) 出願日 平成16年10月20日(2004.10.20)(73) 実用新案権者 597174403
柴田 邦衛
東京都西東京市ひばりが丘北3-4-3
T&Kひばりが丘203
(74) 代理人 100080528
弁理士 下山 富士男
(72) 考案者 柴田 邦衛
東京都西東京市ひばりが丘北3丁目4番3号

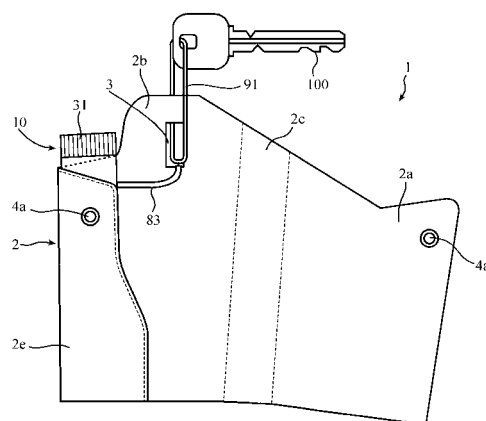
(54) 【考案の名称】 多機能キーホルダー

(57) 【要約】

【課題】本考案は、キーホルド機能、発光機能、非常時等における瞬時の発音機能を備えた多機能キーホルダーを提供する。

【解決手段】本考案の多機能キーホルダーは、キー保持用の長穴3を有するカバーケース2と、カバーケース2により覆われる内部ケース10と、カバーケース2内に形成されるキー収納部と、内部ケース10に収納した発音体、発光部と、内部ケース10内に設けた発音体を動作させる押圧型のスイッチ群と、発光部を動作させるスライド型のスイッチと、カバーケース2の外面に表出させた発音体を動作させる押圧スイッチ操作部群と、長穴3に装着するキー取付具91とカバーケース2との間に相対的な引離力が作用するとき、押圧型のスイッチ群のうちの一つを動作させる異常時動作機構部80と、カバーケース2の外面に表出させたスライド型のスイッチの操作部とを有するものである。

【選択図】図4



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

キー保持用の穴を有するカバーケースと、
このカバーケース内に設けたキー収納用のキー収納部と、
前記カバーケースに収納した発音体及び発光部を外部に向けて表出させた発光部と、
前記カバーケース内に設けた前記発音体、発光部を動作させるスイッチ群と、
前記カバーケースの外面に表出させた前記発音体、発光部を動作させるスイッチ群用の
スイッチ操作部群と、
を有することを特徴とする多機能キーホルダー。

【請求項 2】

キー保持用の穴を有する開閉可能なカバーケースと、
前記カバーケースと一体化されるとともに、カバーケース閉状態でこのカバーケースに
より覆われる一部が開閉可能な内部ケースと、
カバーケース閉状態でこのカバーケース内に形成されるキー収納用のキー収納部と、
前記内部ケースに収納した発音体及び発光部を外部に向けて表出させた発光部と、
前記内部ケース内に設けた前記発音体、発光部を動作させるスイッチ群と、
前記カバーケースの外面に表出させた前記スイッチ群用のスイッチ操作部群と、
を有することを特徴とする多機能キーホルダー。

【請求項 3】

キー保持用の穴を有する開閉可能なカバーケースと、
前記カバーケースと一体化されるとともに、カバーケース閉状態でこのカバーケースに
より覆われる一部が開閉可能な内部ケースと、
カバーケース閉状態でこのカバーケース内に形成されるキー収納用のキー収納部と、
前記内部ケースに収納した発音体及び前記内部ケースに収納した発光部を外部に向けて
表出させた発光部と、
前記内部ケース内に設けた前記発音体を動作させる押圧型のスイッチ群と、
前記内部ケース内に設けた発光部を動作させるスライド型のスイッチと、
前記カバーケースの外面に表出させた前記発音体を動作させる押圧型のスイッチ群用の
スイッチ操作部群と、
前記カバーケースの外面に表出させた前記スライド型のスイッチの操作部と、
を有することを特徴とする多機能キーホルダー。

【請求項 4】

キー保持用の穴を有する開閉可能なカバーケースと、
前記カバーケースと一体化されるとともに、カバーケース閉状態でこのカバーケースに
より覆われる一部が開閉可能な内部ケースと、
カバーケース閉状態でこのカバーケース内に形成されるキー収納用のキー収納部と、
前記内部ケースに収納した発音体及び前記内部ケースに収納した発光部を外部に向けて
表出させた発光部と、
前記内部ケース内に設けた前記発音体を動作させる押圧型のスイッチ群と、
前記内部ケース内に設けた発光部を動作させるスライド型のスイッチと、
前記カバーケースの外面に表出させた前記発音体を動作させる押圧型のスイッチ群用の
押圧スイッチ操作部群と、
前記キー保持用の穴に装着するキー取り付け用のキー取付具とカバーケースとの間に相
対的な引離力が作用するとき、前記押圧型のスイッチ群のうちの一つを動作させる異常時
動作機構部と、
前記カバーケースの外面に表出させた前記スライド型のスイッチの操作部と、
を有することを特徴とする多機能キーホルダー。

【請求項 5】

キー保持用の穴を有する開閉可能なカバーケースと、
前記カバーケースと一体化されるとともに、カバーケース閉状態でこのカバーケースに

10

20

30

40

50

より覆われる一部が開閉可能な内部ケースと、

カバーケース閉状態でこのカバーケース内に形成されるキー収納用のキー収納部と、

前記内部ケースに収納した発音体及び前記内部ケースに収納した発光部を外部に向けて表出させた発光部と、

前記内部ケースにおける前記キー収納部とは反対側の壁面側に設けた前記発音体を動作させる２個の押圧型のスイッチ、前記内部ケースにおける背面側の壁面に設けた前記発音体を動作させる４個の押圧型のスイッチ及び前記内部ケースにおける前記キー収納部側の壁面に設けた押圧型のスイッチからなる押圧型のスイッチ群と、

前記内部ケース内に設けた発光部を動作させるスライド型のスイッチと、

前記カバーケースにおける前記キー収納部とは反対側の壁面に表出させた前記発音体を動作させる２個の押圧型のスイッチ用の押圧スイッチ操作部及び前記カバーケースにおける背面側に表出させた前記４個の押圧型のスイッチ用の平板押圧スイッチ操作部と、

前記カバーケースにおけるキー収納部側の壁面に設けた押圧型のスイッチを、前記キー保持用の穴に装着するキー取り付け用のキー取付具とカバーケースとの間に相対的な引離力が作用するとき動作させる異常時動作機構部と、

前記カバーケースの外面に表出させた前記スライド型のスイッチ用の操作部と、

を有することを特徴とする多機能キーホルダー。

【請求項 6】

前記カバーケースは、携帯電話機のホルダー形態に形成したものである請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の多機能キーホルダー。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、多機能キーホルダーに関し、詳しくは、キーホルド機能の他に発光機能、更には非常時等における発音機能を備えた多機能キーホルダーに関し、携帯電話機のホルダーとしても用いることができる形態としたキーホルダーに関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、家屋、店舗等の出入口の扉に設けた鍵の施錠、解錠等を行うキーを保持するキーホルダーとして種々のものが提案され実用化されている。

【0003】

しかし、従来のキーホルダーは、複数のキーを皮革等で形成したカバーケースに単に収納するだけのもの、カバーケースとペンシルライト等を組み合わせたもの、小銭入れとキー保持機構を組み合わせたもの等が通常であり、防犯機能という視点から見れば満足できる機能を有するものが存在しないのが実情である。

【0004】

一方、防犯機能を備えた用具としては、防犯ブザーが実用化されているが、この防犯ブザーの場合、携帯可能なケース内にスイッチ操作により発音するブザー等を内蔵し、非常時に発音させて防犯機能を発揮させるよう構成したものである。

【0005】

しかし、このような防犯ブザーの場合、通常ポケットやバック等に入れて持ち運ぶことが多く、盗難事件、傷害事件、遭難等の発生時をはじめとして所持者の予期せぬ緊急事態に遭遇した時とっさに防犯ブザーをポケットやバック等から取り出し、スイッチ操作して発音させることは容易ではなく、緊急時における防犯対策としては必ずしも十分ではない。

【0006】

また、キーホルダーと防犯ブザーとは個別の用具であるため、これらを個別に所持し、持ち運ばなければならないという煩雑さもある。

【0007】

特許文献 1 には、多機能型のキーホルダーとして、キーホルダー機能、ポケベル機能、

10

20

30

40

50

利用者の居場所を通信できるGPS機能を組み合わせた電子ベルキーホルダーが提案されている。

【0008】

しかし、この特許文献1の電子ベルキーホルダーの場合も、利用者の居場所を把握できるものの防犯機能という視点から見れば異常事態発生等のようなとっさの場合に対応できるものではない、

【0009】

特許文献2には、キーホルダー機能の他に地面等への落下時の衝撃を検出するセンサー、スピーカを備え、落下時に警告音を発するようにした衝撃感知警報キーホルダーが提案されている。

10

【0010】

しかし、この特許文献2のキーホルダーの場合も、地面等への落下という状態が発生しなければ警告音を発することができず、緊急時における防犯対策としては必ずしも十分ではない。

【特許文献1】特開2004-246846号公報

【特許文献2】特開2000-325223号公報

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0011】

解決しようとする問題点は、キーホルダー機能はもちろんのこと、所持者の居場所を知らせるために周囲を照明できる発光機能、更には非常時等における瞬時の発音機能を備え、盗難事件、傷害事件、遭難等の非常事態における優れた防犯機能をも発揮し得る多機能キーホルダーが存在しない点である。

20

【課題を解決するための手段】

【0012】

本考案の多機能キーホルダーは、キー保持用の穴を有するカバーケースと、このカバーケース内に設けたキー収納用のキー収納部と、前記カバーケースに収納した発音体及び発光部を外部に向けて表出させた発光部と、前記カバーケース内に設けた前記発音体、発光部を動作させるスイッチ群と、前記カバーケースの外面に表出させた前記発音体、発光部を動作させるスイッチ群用のスイッチ操作部群と、を有することを最も主要な特徴とする。

30

【考案の効果】

【0013】

本考案によれば、以下の効果を奏する。

請求項1、2記載の考案によれば、キーホルダー機能、キー収納機能はもちろんのこと、カバーケースの外面に表出させたスイッチ操作部群を操作することにより、発音体又は発光部が動作するので、非常時等における発音機能、所持者の居場所を知らせるために周囲を照明できる発光機能をも発揮する多機能なキーホルダーを提供できる。

【0014】

請求項3記載の考案によれば、キーホルダー機能、キー収納機能はもちろんのこと、カバーケースと一体化した内部ケースを備え、前記内部ケースに発音体、発光部を収納した構成で、カバーケースの外面に表出させた押圧型のスイッチ操作部群、スライド型のスイッチの操作部を各々操作することで、発音体又は発光部を動作させることができ、非常時等における発音機能、所持者の居場所を知らせるために周囲を照明できる発光機能をも発揮する多機能なキーホルダーを提供できる。

40

【0015】

請求項4記載の考案によれば、キーホルダー機能、キー収納機能はもちろんのこと、カバーケースと一体化した内部ケースを備え、前記内部ケースに発音体、発光部を収納した構成で、カバーケースの外面に表出させた押圧型のスイッチ操作部群、スライド型のスイッチの操作部を各々操作することで、発音体又は発光部を動作させることができ、非常時等

50

における発音機能、所持者の居場所を知らせるために周囲を照明できる発光機能をも発揮する。更にキー取付具とカバーケースとの間に相対的な引離力が作用するとき、前記押圧型のスイッチ群のうちの一つを動作させる異常時動作機構部を備えているので、鍵穴にキーを差し込んだままカバーケースを引っ張ることで、発音体を鳴動させることができ、異常事態発生時に瞬時に発音体を鳴動させるとともに、所持者の居場所を知らせるために周囲を照明できる発光機能をもって防犯機能を高めることができる。

【0016】

請求項5記載の考案によれば、キーホルド機能、キー収納機能はもちろんのこと、2個の押圧型のスイッチ用の押圧スイッチ操作部、4個の押圧型のスイッチ用の平板押圧スイッチ操作部を操作することで発音体を操作性良く鳴動させたり、鍵穴にキーを差し込んだままカバーケースを引っ張ることで、発音体を鳴動させることができ、異常事態発生時に瞬時に発音体を鳴動させるとともに、所持者の居場所を知らせるために周囲を照明できる発光機能をもって防犯機能を高めることができる。更にスライド型のスイッチ用の操作部を操作することで、発音体を鳴動させ、同時に発光部を点灯させて周囲を照明することもできる。

10

請求項6記載の考案によれば、請求項1乃至5に記載の多機能キーホルダーの前記カバーケースを携帯電話機のホルダー形態に形成したので、前記請求項1乃至5に記載の多機能キーホルダーの効果を発揮しつつこれを携帯電話機のホルダーとして使用できる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0017】

本考案は、キーホルド機能に加えて、所持者の居場所を知らせるために周囲を照明できる発光機能、更には緊急非常事態の発生時等における瞬時の発音機能を備え、盗難事件、傷害事件、遭難等の緊急非常事態の発生時における優れた防犯機能をも発揮し得る多機能キーホルダーを提供するという目的を、キー保持用の穴を有する開閉可能なカバーケースと、前記カバーケースと一体化されるとともに、カバーケース閉状態でこのカバーケースにより覆われる一部が開閉可能な内部ケースと、カバーケース閉状態でこのカバーケース内に形成されるキー収納用のキー収納部と、前記内部ケースに収納した発音体及び前記内部ケースに収納した発光部を外部に向けて表出させた発光部と、前記内部ケース内に設けた前記発音体を動作させる押圧型のスイッチ群と、前記内部ケース内に設けた発光部を動作させるスライド型のスイッチと、前記カバーケースの外面に表出させた前記発音体を動作させる押圧型のスイッチ群用の押圧スイッチ操作部群と、前記キー保持用の穴に装着するキー取り付け用のキー取付具とカバーケースとの間に相対的な引離力が作用するとき、前記押圧型のスイッチ群のうちの一つを動作させる異常時動作機構部と、前記カバーケースの外面に表出させた前記スライド型のスイッチの操作部と、を有する構成により実現した。

20

30

【実施例】

【0018】

以下に、本考案の実施例を詳細に説明する。

まず、図1乃至図4を参照して本実施例の多機能キーホルダー1の全体構成について説明する。

40

本実施例の多機能キーホルダー1は、例えば皮革材により形成したキー保持用の長穴3を有するとともに、開閉可能で、且つ、図1に示す閉状態では角筒状を呈するカバーケース2と、このカバーケース2と接着又はリベット止等で一体化されるとともに、前記カバーケース2の閉状態でこのカバーケース2により覆われる一部が開閉可能な例えば皮革材により形成した角筒状を呈する内部ケース10と、前記カバーケース2の閉状態でこのカバーケース2内の内部ケース10の隣りに形成されるキー収納用の空間であるキー収納部11とを有している。

【0019】

前記カバーケース2は、図1乃至図4に示すように、閉状態で表側に位置する表片2aと、長穴3を上部に設けた背面片2bと、表片2a、背面片2bを連結する側面片2c、

50

2 d と、側面片 2 d から表片 2 a 側から突出形成した受片 2 e とを有し、前記表片 2 a の裏面と受片 2 e の表面とにホック突部 4 a、ホック凹部 4 b を取り付けて、これらホック突部 4 a、ホック凹部 4 b の嵌着、嵌着解除により図 1 に示す閉状態、図 4 に示す開状態の両状態をとり得るように構成している。

前記カバーケース 2 でもって携帯電話機のホルダー形態（図示せず）として用いるようにして実施しても良い。

【0020】

前記内部ケース 10 には、図 5、図 6、図 7 に示すように、例えばブザー音を発する発音体 21（ブザー音を発する面に多数の小孔を形成している）、可視光を発する発光部 31、電池 41 及び点灯制御回路 42 を搭載した回路ユニット 40、発音体 21 を動作させる合計 7 個の押圧型のスイッチ 60 a 乃至 60 g からなる押圧型のスイッチ群、発光部 31（周辺を照らす作用を一層発揮できるようにライト形態に形成している）を動作させるスライド型のスイッチ 70 を収納している。

10

【0021】

合計 7 個の押圧型のスイッチ 60 a 乃至 60 g のうち、4 個の押圧型のスイッチ 60 a 乃至 60 d は、図 7 に示すように、前記内部ケース 10 の背面側に配置し、これらのスイッチ 60 a 乃至 60 d の各押圧子 61 a 乃至 61 d を前記内部ケース 10 の背面側に設けた長穴状の抜穴 62 から前記背面片 2 b 側に臨ませている。

更に、前記発光部 31 を動作させるスライド型のスイッチ 70 は、図 7 に示すように、前記内部ケース 10 の背面側に配置し、このスイッチ 70 のスライド操作片 71 を、内部ケース 10 の背面側に設けた長穴 63 から前記背面片 2 b 側に臨ませている。

20

【0022】

また、合計 7 個の押圧型のスイッチ 60 a 乃至 60 g のうち、2 個の押圧型のスイッチ 60 e、60 f は、図 6 に示すように、前記内部ケース 10 の前記カバーケース 2 における側面片 2 d と接触させる側面側に配置し、これらのスイッチ 60 e、60 f の各押圧子 61 e、61 f をこの側面側に設けた 2 個の丸孔 63 b、63 c から前記側面片 2 d 側に臨ませている。

【0023】

合計 7 個の押圧型のスイッチ 60 a 乃至 60 g のうち、押圧型のスイッチ 60 g は、図 5 に示すように、前記内部ケース 10 における前記キー収納部 11 側に配置し、詳細は後述する異常時動作機構部 80 によりオン、オフ動作させるようになっている。

30

【0024】

前記カバーケース 2 は、図 1 乃至図 4 に示すように、閉状態で表側に位置する表片 2 a と、長穴 3 を上部に設けた背面片 2 b と、表片 2 a、背面片 2 b を連結する側面片 2 c、2 d と、側面片 2 d から表片 2 a 側から突出形成した受片 2 e とを有し、前記表片 2 a の裏面と受片 2 e の表面とにホック突部 4 a、ホック凹部 4 b を取り付けて、これらホック突部 4 a、ホック凹部 4 b の嵌着、嵌着解除により図 1 に示す閉状態、図 4 に示す開状態の両状態をとり得るように構成している。

【0025】

前記カバーケース 2 の背面片 2 b には、図 2 に示すように、前記スイッチ 60 a 乃至 60 d の各押圧子 61 a 乃至 61 d を選択的に又は複数同時に操作するための平板押圧スイッチ操作部である平板状の例えば硬質で弾力性を有するゴム板等からなる弾性板 90 を背面片 2 b の一部を切除してその部分に添設している。

40

【0026】

前記カバーケース 2 の側面片 2 d には、図 3 に示すように、前記スイッチ 60 e、60 f の各押圧子 61 e、61 f を表出させるための 2 個の丸孔 2 f、2 g を設け、押圧スイッチ操作部として機能させるようにしている。2 個の丸孔 2 f、2 g に各々円形のゴム板等を貼り付けて押圧スイッチ操作部とすることもできる。

【0027】

更に、前記背面片 2 b の前記弾性板 90 の上部には、図 2 に示すように、前記スイッチ

50

70のスライド操作片71をスライド操作するための操作部であるスライド長穴2hを設けている。

【0028】

次に、前記異常時動作機構部80について、図5、図10を参照して説明する。この異常時動作機構部80は、図10に示すように、前記背面片2bの長穴3の近傍から前記スイッチ60gに至る領域に配置され、前記キー保持用の長穴3に装着するキー100の取り付け用の例えば金属製で環状のキー取付具91に一端を、前記スイッチ60gの押圧子61gの近傍に回動可能に配置した回動板81に他端を連結した例えばピアノ線等からなる力伝達部材82と、この力伝達部材82を摺動可能に包囲する状態で前記背面片2bに固着した力伝達部材保持具83と、前記回動板81を常時は前記押圧子61gから離れる方向に付勢するバネ84とを具備している。 10

前記異常時動作機構部80は、図10に示すように、例えば、キー取付具91に装着されているキーを建物入口の鍵穴に差し込んだ状態で、キーホルダーが強く引かれることによって、発音体21を鳴動させるように構成しているので、通常は故意にキー取付具91又はキーホルダーの相互を離反させるような状態で強く引かない限り誤作動しないようになっている。

【0029】

なお、前記スイッチ60g、回動板81、バネ84は前記内部ケース10内に固定配置した支持板85上に支持され、また、回動板81は支持軸86により支持板85上において図10に示す矢印方向に回動可能に支持している。 20

従って、前記キー取付具91とカバーケース2との間に相対的な引離力が作用するとき、前記力伝達部材82が引張られて前記回動板81をバネ84の付勢力に抗して回動させ、回動板81により前記スイッチ60gの押圧子61gを押圧してオンさせ、これにより、前記発音体21を鳴動させると同時に、発光部31を点灯させて周囲を照明できるように構成している。

【0030】

次に、前記内部ケース10の一部の開閉構造について図8、図9を参照して説明する。

前記内部ケース10におけるキー収納部11側の側面には、図9に示すように、3個の互いに分離して内部ケース10の側方に展開可能な第1乃至第3の展開片12a乃至12c及びこれらに各々連なる第1乃至第3の折込片13a乃至13cが形成され、これらにより、前記内部ケース10の前記キー収納部11側の側面を開口可能としている。また、第1乃至第3の展開片12a乃至12cは、皮革材により形成した長形状の蓋片14により相互に連結状態になり、前記キー収納部11側の側面を閉塞するようになっている。 30

【0031】

すなわち、蓋片14に所定の間隔で設けた例えば3個のマイナスネジ15a乃至15cを第1乃至第3の展開片12a乃至12cの外側面に締着し、第1乃至第3の展開片12a乃至12c相互に連結するとともに第1乃至第3の折込片13a乃至13cを各々内部ケース10内に折り込むことで、図8に示すように前記内部ケース10におけるキー収納部11側の側面を閉塞するようになっている。なお、前記第1の展開片12a及び第1の折込片13aには、前記力伝達部材82及び力伝達部材保持具83を挿通させるための切欠部16を設けている。 40

【0032】

上述したような内部ケース10における開閉構造により、この内部ケース10内に収納した発音体21、発光部31等の点検や、電池41の電池交換等を可能としている。

【0033】

次に、図11を参照して本実施例の電気回路系について説明する。

この電気回路系は、前記点灯制御回路42に対して、7個のスイッチ60a乃至60gの並列回路を接続し、スイッチ60a乃至60gのうちのいずれかの(又は複数同時の)オン動作で前記発音体21を鳴動させると同時に、発光部31を点灯させて周囲を照明できるように構成している。前記押圧型のスイッチ60a等は、誤作動を防ぐために、その 50

押圧時、指先にある程度強く力を加えることで発音体 2 1 を鳴動させるように構成している。

【 0 0 3 4 】

また、前記点灯制御回路 4 2 に対して、スイッチ 7 0 を接続し、スライド操作片 7 1 のスライド操作によるスイッチ 7 0 のオン動作で前記発光部 3 1 を発光させ、多機能キーホルダー 1 の周囲の照明を可能としている。

【 0 0 3 5 】

上述した構成の多機能キーホルダー 1 によれば、キー取付具 9 1 に取り付けしたキー 1 0 0 のキーホルド機能を発揮させることができ、また、キー収納部 1 1 内にキー 1 0 0 を収納して保管、持ち運びを行うことができる。

10

【 0 0 3 6 】

また、前記スライド操作片 7 1 のスライド操作によってスイッチ 7 0 をオン動作させ前記発光部 3 1 を発光させることで、夜間等においてキー 1 0 0 を玄関扉の鍵穴に差し込む際の便宜を図ることができる。

【 0 0 3 7 】

更に、盗難事件、傷害事件、遭難等の発生時をはじめとして所持者の予期せぬ緊急事態に遭遇した異常事態において、前記カバーケース 2 の外部から押圧型のスイッチ 6 0 a 乃至 6 0 f のいずれかを押圧し、前記発音体 2 1 を鳴動させることで、優れた防犯機能を発揮させることができる。

【 0 0 3 8 】

20

特に、前記カバーケース 2 の背面片 2 b に平板状のゴム等からなる弾性板 9 0 を配置し、弾性板 9 0 により前記スイッチ 6 0 a 乃至 6 0 d の各押圧子 6 1 a 乃至 6 1 d を選択的に又は複数同時に押圧して前記発音体 2 1 を鳴動させるようにしているので、操作性よく、且つ、迅速に前記発音体 2 1 を鳴動させると同時に、発光部 3 1 を点灯させて周囲を照明することで、優れた防犯機能を発揮させることができる。

【 0 0 3 9 】

更に、例えば前記キー 1 0 0 を玄関扉の鍵穴に差し込んだ状態において、異常事態に遭遇したような場合には、キー 1 0 0 を玄関扉の鍵穴に差し込んだままカバーケース 2 を手前に引く。

【 0 0 4 0 】

30

これにより、前記キー取付具 9 1 とカバーケース 2 との間に相対的な引離力が作用し、前記力伝達部材 8 2 が引張られて前記回動板 8 1 をバネ 8 4 の付勢力に抗して回動させ、回動板 8 1 により前記スイッチ 6 0 g の押圧子 6 1 g を押圧してオンさせ、前記発音体 2 1 を鳴動させると同時に、発光部 3 1 を点灯させて周囲を照明することができ、とっさの場合に極めて優れた防犯機能を発揮させることができる。

【産業上の利用可能性】

【 0 0 4 1 】

本考案は、上述したような通常のキーホルダーの他、車輛のキー用のキーホルダー、会社、倉庫、商店等の出入口の鍵に使用するキー用のキーホルダーとして幅広く適用可能であり、また、例えば周囲に人の少ないような時に行う仕事の時、登山時、農作業時等々に

40

において所持者に異常な事態が発生したような場合（登山時に熊等に遭遇したような場合）、所持者の周囲、周辺に救助を求めることが可能である等幅広く適用可能である。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 4 2 】

【図 1】本考案の実施例の多機能キーホルダーの正面図である。

【図 2】本実施例の多機能キーホルダーの背面図である。

【図 3】本実施例の側面図である。

【図 4】本実施例の多機能キーホルダーの開状態の正面図である。

【図 5】本実施例の多機能キーホルダーにおける内部ケースの正面図である。

【図 6】本実施例の多機能キーホルダーにおける内部ケースの側面図である。

50

【図 7】本実施例の多機能キーホルダーにおける内部ケースの背面図である。

【図 8】本実施例の内部ケースの閉状態の斜視図である。

【図 9】本実施例の内部ケースの開状態の斜視図である。

【図 10】本実施例の多機能キーホルダーにおける異常時動作機構部の概略構成図である。

【図 11】本実施例の電気回路系を示す概略ブロック図である。

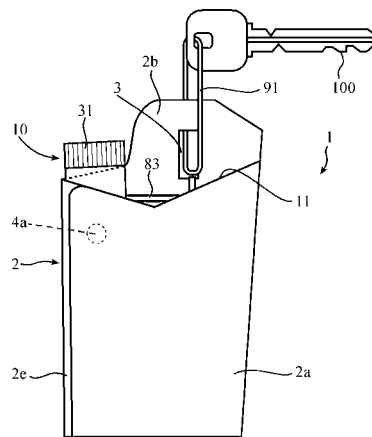
【符号の説明】

【0043】

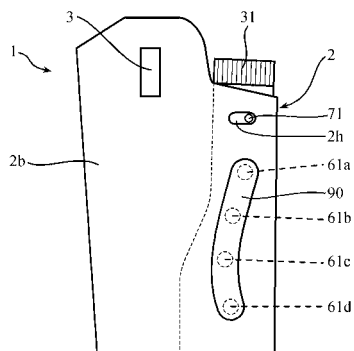
1	多機能キーホルダー	
2	カバーケース	10
2 a	表片	
2 b	背面片	
2 c	側面片	
2 d	側面片	
2 e	受片	
2 f	丸孔	
2 g	丸孔	
2 h	スライド長穴	
3	長穴	
4 a	フック突部	20
4 b	フック凹部	
10	内部ケース	
11	キー収納部	
12 a	第1の展開片	
12 b	第2の展開片	
12 c	第3の展開片	
13 a	第1の折込片	
13 b	第2の折込片	
13 c	第3の折込片	
14	蓋片	30
15 a乃至15 c	マイナスネジ	
16	切欠部	
21	発音体	
31	発光部	
40	回路ユニット	
41	電池	
42	点灯制御回路	
60 a乃至60 g	スイッチ	
61 a乃至61 g	押圧子	
62	抜穴	40
63	長穴	
63 b	丸孔	
63 c	丸孔	
70	スイッチ	
71	スライド操作片	
80	異常時動作機構部	
81	回動板	
82	力伝達部材	
83	力伝達部材保持具	
84	バネ	50

8 5	支持板
8 6	支持軸
9 0	彈性板
9 1	キー取付具
1 0 0	キー

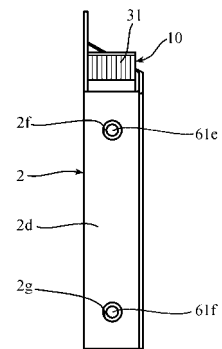
【図 1】



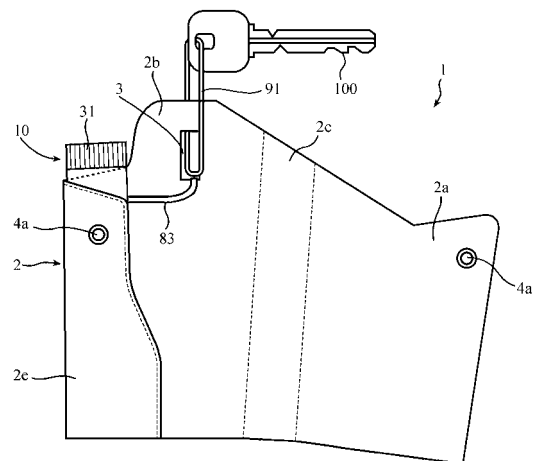
【図 2】



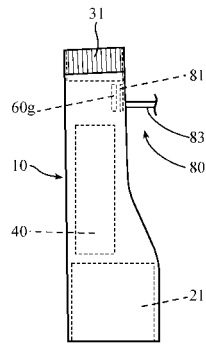
【図 3】



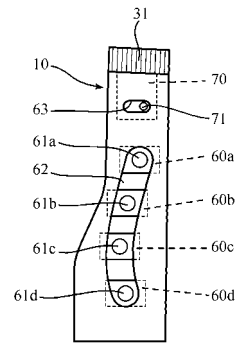
【図 4】



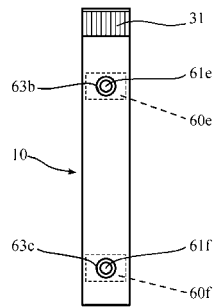
【図 5】



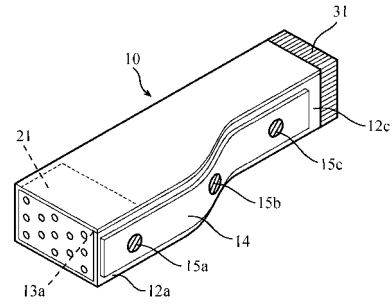
【図 7】



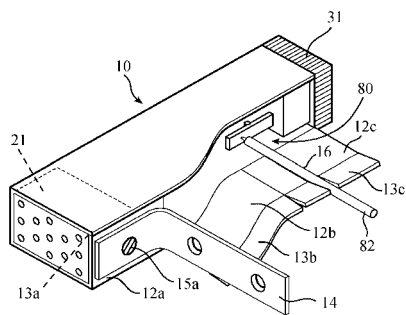
【図 6】



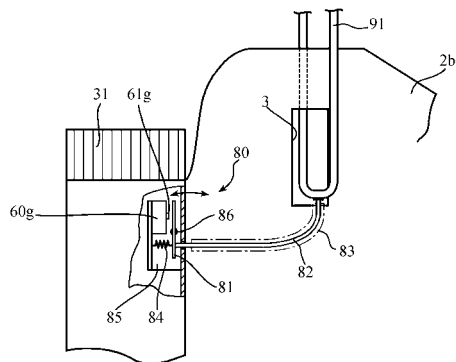
【図 8】



【図 9】



【図 10】



【図 11】

